

がん検診プロセス指標評価基準の変更について

1 背景

従来のプロセス指標は、許容値（最低限満たすべき値）と目標値（許容値を満たしている場合に目指すべき値）の2段階で設定されていた。大半の自治体が許容値を満たす状況になり、厚生労働省「がん検診のあり方に関する検討会」にてプロセス指標の見直しに向けた検討・研究が進められた結果、新たな基準が示された。

2 主な変更点

- ・「許容値（最低限満たすべき値）」が廃止となり、「基準値（検診として効果がある感度、特異度の値を達成するために必要と考えられる値）」に統一
- ・未把握率、未受診率の基準値が廃止
- ・基準値の対象年齢に上限 69 歳の区分が追加

3 旧基準（令和5年度まで）

【全年齢】

		胃 が ん	大 腸 が ん	肺 が ん	乳 が ん	子宮頸がん
精 検 受 診 率	許容値	70%以上	70%以上	70%以上	80%以上	70%以上
	目標値	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上
未 把 握 率	許容値	10%以下	10%以下	10%以下	10%以下	10%以下
	目標値	5%以下	5%以下	5%以下	5%以下	5%以下
未 受 診 率	許容値	20%以下	20%以下	20%以下	20%以下	20%以下
	目標値	5%以下	5%以下	5%以下	5%以下	5%以下
要 精 検 率	許容値	11%以下	7%以下	3%以下	11%以下	1.4%以下
が ん 発 見 率	許容値	0.11%以上	0.13%以上	0.03%以上	0.23%以上	0.05%以上
陽性反応適中度	許容値	1.0%以上	1.9%以上	1.3%以上	2.5%以上	4.0%以上

4 東京都が採用した新基準（令和6年度から）

【69 歳以下】

	胃がん (内視鏡)	胃がん (エックス線)	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん		
						20～69 歳	20～39 歳	40～69 歳
精検受診率	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上
要精検率	7.1%以下	7.0%以下	6.2%以下	2.0%以下	6.8%以下	2.7%以下	4.2%以下	2.0%以下
がん発見率	0.13%以上	0.08 以上	0.16%以上	0.03%以上	0.29%以上	0.16%以上	0.18%以上	0.15%以上
陽性反応適中度	1.9%以上	1.1%以上	2.6%以上	1.6%以上	4.3%以上	5.9%以上	4.4%以上	7.4%以上

【全年齢】

	胃がん (内視鏡)	胃がん (エックス線)	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
精検受診率	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上
要精検率	7.7%以下	7.6%以下	6.8%以下	2.3%以下	6.4%以下	2.5%以下
がん発見率	0.19%以上	0.11 以上	0.21%以上	0.05%以上	0.31%以上	0.15%以上
陽性反応適中度	2.5%以上	1.5%以上	3.0%以上	2.2%以上	4.8%以上	5.9%以上